

特別寄稿

チアリーダーはどこに？

リック・ボイヤー

翻訳：米澤 輝美

最近ある空港で、テレビに映るバスケットボールの試合の最後の瞬間を目にしました。我が家にはテレビがないので、試合を妨げるほどの観客の熱狂的な応援を見たことはありませんでした。特にこの試合は手に汗握る展開で、審判が残り時間を確認し、最終ブザーが鳴ると、観客は半狂乱の状態に陥っていました。それから時間の判断が困難を極めると会場中が騒ぎたちました。ファンは足を踏み鳴らし、チアリーダーはコートの手前で跳ねてハンドスプリングをしていました。

その後、私は私の妻マリリンと、人間とはなんと奇妙な生き物なのかと、この出来事を振り返りました。何千時間ものトレーニングを積み、選抜された5人ずつの2チームが、体育館内で空気入りのボールを投げ、金属の輪から釣り下がっているネットにボールを通す。その全ての様子を何千もの人々が、まるで世界の行方がその磨き上げられた硬い床の上で決まるかのように見入っている。私たちはそのように楽しむことがとても好きなのです。

そして私も楽しむことが好きな一人です。私自身遊びたいですし、仕事が許す限りいつも楽しい時間を過ごしたと思っています。クリスチャン生活にも休息や楽しみの時間があることを誰も否定はしないでしょう。しかし、少しやりすぎたようです。永遠の命、救いの重要性が知れ渡っていない中、プロの選手が崇められる社会に何か間違いがあるのではないのでしょうか。

親の代弁者として言いますが、親たちに対しての応援がもっとあっていいと思うのです。母親や父親がしていることは称賛に値することがあると思います。実際、たくさんの称賛があります。結局のところ、輪にボールを投げることで、永遠に生きる小さな魂を整えていくこと、どちらがより重要なことでしょうか。疲れきった若い母親が、3歳の子どもに本を読むために、一日に何度ももなく彼女がやりたい事を後回しにする時に、ハン

ドスプリングをして彼女を応援するようなチアリーダーがどこにいますでしょうか？妻と子どもたちに家を与えるために、そんなに楽しみでない仕事に、何時間も長く取り組む父親のために、誰がポンポンを振って応援しているのでしょうか？スポーツでも、大変なことに取り組み、犠牲を払うものですが、より重要であるのにも関わらず、感謝されるのが少ないのが親というものではないのでしょうか？

そんな親のためのチアリーダーが、どこにいますのでしょうか。揺りかごをゆすり、おむつを替え、請求書の支払いをし、決して完全な休暇を取らない存在に気付いて称賛している人がいるのでしょうか？実は、親というものは、あらゆる分野、国、近所においても目立たない英雄なのです。彼らは子どもの必要を満たすために、彼ら自身の事柄を全て毎日脇に置いているのです。少しは称賛されてもいいはずなのです。

今の社会はもはやあまり優しいものではありません。政府は親を、子どもを教育するという面で信頼できる存在と見なしていません。親は教育の働きにはもはや適任でなく、公認のプロが必要とされ、“地域”が子どもたちの必要を満たす必要があると言われている状況があります。アメリカの人々は、たった数世代前は、子どもを育てるのは地域ではないと知っていましたし、国や地域だと言う人がいれば、愚か者と見なされていました。

残念なことですが、現代の教会の多くがこのような考え方に陥っているのです。もし美しくゴスペルを歌えば、立派な説教を語れば、家売って宣教地に行けば、称賛され、尊敬されるのです。しかし、あなたが今週歌った歌すべてが、人前での讃美歌ではなく、自分の子どもへの童謡と子守り歌であった場合どうでしょう？あなたの説教が500人の人々に聞かれるものではなく、一人の5歳の子どもに向かってならばどうでしょう？今週50回のおむつ替えをしたならばどうでしょう？

その愛の働きが人前での働きに比べて平凡であるように思えるからといって、あなたは霊的に足りなく、あなたの価値が低くなるのでしょうか。

私は、母親が特に過小評価されていると思います。私は父親であり、他の父親たちのことは、どんなに難しいことをしているか理解することができ、尊敬することができます。しかし、母親は目立たずよく分からないのですが確かに一級の英雄なのです。その仕事は終わりがなく、昼夜構わず働きます。家の中の皆が（父親を含む）母親に問題や心配を持ってくるので、自分自身のことを考える時間はめったに作れません。彼女は、掃除婦、コック、食品買い出し係、経理スタッフ、救護員なのです。一筋縄にはいかないようなことも多く、

自分自身が何人もいたらと思えるような仕事の多さなのです。ところで、これを私の妻が読んだなら…本当に感謝しています。

親たちに3つの声援です！彼らは、常にすべてを与える人です。そしてその働きは2人が100万人になるよりもっと世界にとって重要な働きなのです。次回、小さいお子さんを連れた若い母親や若い夫婦に出会った時、見て通り過ぎないようにしてください。素晴らしい家族が与えられていることを褒め、その素晴らしき子どもたち（たとえ彼らが現在完璧でなくても）を見るのがいかに励ましかということ伝えてください。毎日、世界中で、親たちは全てを捧げています。誰かが声援を送るべきなのです！